

産地パワーアップ事業の取組事例

(兵庫県)

取組の概要

取組の概要 : 堆肥散布作業効率化による水稻生産性の向上
計画作成主体 : 朝来市農業再生協議会
対象品目 : 水稻 (産地面積 : 60ha)
取組主体 : 吉田農場合同会社
成果目標 : 生産コストの10%以上の削減
助成金の活用 : 生産支援事業 (マニュアル スプレッダー等の導入)

ポイント

マニュアル スプレッダー等の導入による堆肥散布作業の効率化により肥料にかかる経費を削減するほか、農地の集積により生産コストの低減を目指す。

地区の概要



産地の現状と目標

〈現状:H27年度〉

作付面積 : 60ha
取組主体への集積 : 25ha

〈目標:H30年度〉

作付面積 : 60ha
取組主体への集積 : 30ha



(水稻収穫風景)

推進体制

地域の関係者 (朝来市、朝来農林振興事務所、朝来農業改良普及センター、J Aたじま) が一体となり、事業を推進。

地域における独自の取組

〈主な取組〉

- 堆肥散布の効率化による環境保全型農業の拡大
- 兵庫県が推進している環境保全を目的とした「コウノトリ育む農法」の導入による地域ブランドの推進

事業効果

- 産地における水稻生産コストの10%以上削減
- 環境保全型農業の推進
- 取組主体への農地集積の推進 (25ha→30ha)

～水稻生産コスト～
(60kg当たり)

